

朝礼風景

第七回 (有)杉谷本舗

午前八時三〇分、社員が集まり朝礼が始まりました。「開始一分前です。姿勢を正し、心穏やかに、昨日の反省と今日の行動予定を瞑想して下さい」。進行の岸川さんが「朝の挨拶リーダー前田さん」と大きく発声し、前田さんの元気な挨拶から、社員全員笑顔での朝礼が始まりました。

その後、経営理念「まごころと共に美味しさと幸せをお届けする」の唱和。次に、各部署から「いいね!」の報告。「昨日検診に行き異常がなく、ほっとしました。一緒に来てくれた奥さんと仲良く映画を観て帰りました。健康・奥さんの有り難さが身にしみました」

次に各部署からの連絡事項。



全員で発表者に「ヨッ!!」

「本日は観光バスのお客様が来店されます。皆さん笑顔での対応をお願いします」。続いて「職場の教養」の輪読。輪読後の感想で、「私もたまにお節介でいろいろ言ってしまうことがありますが、今後は一度考えてから、発言したいと思います」。最後に杉谷社長から一言。「先日、川崎フロンターレのファンの方から封書が届きました。『長崎に試合を観戦に来て、たくさんの長崎の方に歓迎のおもてなしを受けました』

その中で杉谷本舗様からマスコットキャラクター・ヴィヴィ君が印刷されたおこし「またのおこしを」を頂きました。とても美味しく、長崎にまた来たいと思いました」と書いてありました。私がなぜVファーレン長崎を応援しているかというところ、高田社長の『サッカーを通じて長崎を活性化する』という想いに感動し、



おいしすぎたに!!

自分も応援したいと思ったからです。地域社会を活性化し、長崎を良くするために、みんなが応援していきましょう。また「職場の教養」にもあったように、タイミングがずれると、色々な提案など言いづらくなることはたくさんあります。心のどこかに自分の自我があったことは間違いありません。感謝の気持ちがあれば、自我は出てきません。感謝の気持ちを常に持ち、相手(お客様)に感謝の心で接客致しますよう」

最後に全員で活力チャージ「杉谷本舗 がんばらば やるばいオー」。さらに合い言葉「おいしすぎたに!」を全員で唱和し、朝礼が終了しました。

活力ある大きな声と笑顔、元気がみなぎる杉谷本舗の皆さん。感謝の心でお客様に接する素晴らしい会社でした。



笑顔が素敵な社員さん

諫早倫理法人会 会員
有限会社 杉谷本舗

七代目 代表取締役社長

杉谷 徳隆 氏

常務取締役

杉谷 鈴子 氏



杉谷徳隆社長(左)と鈴子常務

●御社の事業内容を教えてください。私たちの会社は菓子製造・販売業です。創業は江戸後期文化八年一八一一年(創業二〇八年)になります。私が現在七代目の社長になり、社員数はパートを含め七十三名です。●「倫理経営」を取り入れて良かったことはありますか。何事にも「逃げない」ようになりまし。現在起こっていることは、これから成長することであり、必要に応じて起こっていると学びました。●会社を経営する中で、何が一番大切だと考えますか。杉谷本舗の存在意義は「お客様、取引先様、地域の方々、そして弊社を支える従業員など、すべての人々に感謝し、喜びと幸せをお届けし、社会

貢献し続ける」ことにあると思っています。これからは、お買い上げいただいたお客様に感謝し、「杉谷本舗を選んでよかった」と思っていただけのお菓子を「真心」と共にお届けしていく。これからはお客様を大切に。ひいては、お客様や取引先様から大切にされる会社を目指しています。●御社の強みを教えてください。一番の強みは家族的でアットホームな雰囲気ですね。弊社のロゴは、丸の中に四つのお米(おこし)が入っています。四つのお米は従業員・お客様・取引先様・地域の方々。外側の丸はこれからも続いていく杉谷本舗の真心。「思いやりの心・感謝の心で丸く収めて皆様に幸せにします」という意味になります。「真心」は杉谷本舗のすべてです。●今後、事業を進める上で思い描かれるビジョンをお聞かせください。今まで以上に杉谷本舗のブランド力を高めること。私が思うブランドは、お客様との信頼関係だと思っています。これからは三百年、五百年の杉谷本舗の礎を作り、お菓子をを通してお客様に真心を伝えたい。これからは社員一丸となって頑張っていきたいと思います。

有限会社 杉谷本舗

本社・工場・橋店
長崎県諫早市松里町一五七四一
TEL.0957-28-2277
FAX.0957-28-2318
本店
長崎県諫早市八坂町六一十
TEL.0957-22-2306
FAX.0957-22-2307
http://www.sugitanpono.co.jp

単会活動報告

長崎南倫理法人会ナイトセミナー
私が倫理法人会で学び続ける理由
第六回長崎南倫理法人会のナイトセミナーが、二月八日に行われ、講師は山口県倫理法人会の松永秀夫副会長、金田千明女性委員長。まずは、金田委員長のスピーチからスタート。入会後役員となるも、皆が動いてくれず、嫌になって遠ざかった時期もあったそうです。しかし今、女性委員長として活動できているのは、倫理法人会での出会った人たちのおかげだったとのこと。人のせいではない。全ては私ごと。そこから生まれる「感謝」に気づいたという内容でした。

続いて松永副会長の講話。一見、強面に見えますが、元気の良い、誰にも負けない「はい」の返事と挨拶が印象的でした。初参加の方がびっくりされるほどの大きな声。初めは出来なかつた返事や挨拶も、しっかりと考えて、納得のいく意味付けやポイントを見出しながら妥協なく取り組むようになったそうです。「何事も本気で向き合い、実践することで、会社、仲間、自分が良くなる。これはまさに人儲け。その価値はプライスレス!」と松永副委員長。

さらに、長崎南倫理法人会の仲間になると決めてくださった一名の方の入会がありました。今朝も目が覚めた奇跡に感謝して「スイッチオン!」



委員会活動報告

青年委員会主催ナイトセミナー
三月二十日長崎市立図書館で、青年委員会主催の第二回ナイトセミナーが開催されました。講師は(株)麺也オールウェイズ代表



取締役で、長崎市倫理法人会会員の高木隆太郎氏。約八十名の来場がありました。講話前に長崎市倫理法人会青年委員長の(有)西崎フルーツ泉浩平氏による事業体験報告。「倫理法人会と出会い『夢を持つ大切さ』を教えてくださいました。入会後の私の実践は、毎日『万人幸福の葉』を一条ずつ読むこと。葉を読むことで皆さんの気付きを得ることができました」と述べました。

続いて高木氏の講話。「大学時代ラーメンに魅了され、九年間修業後、二〇〇九年長崎市万屋町にオールウェイズ一号店をオープン。それから三ヶ月、休みなくほぼ寝ずに働きました。ラーメン店を開店して一番大事だと思ったことは、『人との縁』です。やはり店の経営は一人では無理です。私は社員が接客する際に『お客様が席に着いた時、お冷をどこに置く?』と尋ねることがあります。社員の頭は『マーク』。私は社員に、『ただお冷を置いてもお客様は喜ばないよね。でもちよつとした気遣い、例えばお子様がいればどこにお冷を置けばこぼさないかなど、自分自身をお客様に置き換えて接すれば、ラーメンやお店の雰囲気も変わり、お客様も増えるんだよ』と話します。

「ラーメンは麺・スープ素材がとても大事です。でもそれ以上に大事なものは、私の会社で働いてくれる社員です。これからは成長し続けるには、絶対に人は不可欠です。全社員が同じ目標・理念を共有し、ラーメンを通してお客様を幸せにする。家族に感謝・社員に感謝・豚に感謝・私に関わってくれたすべての方に感謝すれば、必然と売り上げも上がり、人も集まります」。昨年中国に新店舗をオープンしたという高木さん。「これからは挑戦し続け、長崎から世界へラーメンを通して麵也オールウェイズの事業を拡大していきたい」と抱負を語りました。

杉谷本舗工場見学!!

朝礼取材後、工場を見学させていただきました。



1本から名入れができますよ! カステラ製造 新鮮な卵と合わせます

おこしはすべて手作業で作ります カットされた沢山のカステラは圧巻です

名物おこし(左)と五三焼きカステラ。美味しそう!!

女性委員会主催

「七人のなでしこによる」夜ななでしこ「モーニングセミナー」
一月三十日、ホテルグランドパレス諫早にて「七人のなでしこ」による「モーニングセミナー」が開催されました。来場者は会員・未会員の方を含め一〇九名。満席の会場で七人のなでしこ(女性会員)の発表が始まりました。日々の実践や体験がたくさん散りばめられた物語で、涙あふれる感動の連続。一五〇〇文字に込められた想いが素直に心に響き、倫理の力、素晴らしさをあらためて学ぶことができた感動のセミナーでした。

